

CHAPTER 1
KNOWLEDGE—総論—

1 INTRODUCTION

- 1 | はじめに
- 2 | 支台歯形成の理想的3条件と臨床的7評価項目
- 3 | 補綴歯冠修復治療を成功に導くための3条件

2 BIOLOGIC CONSIDERATIONS:
生物学的条件

- 1 | 歯髄の保護・歯質の保存
- 2 | 再感染の予防(歯周疾患・二次齲蝕)
- 3 | 歯の破折の予防

3 MECHANICAL CONSIDERATIONS:
機械的条件

- 1 | 維持形態(Retention Form):脱離の予防
- 2 | 抵抗形態(Resistance Form):脱離の予防
- 3 | 修復物破折の予防

4 ESTHETIC CONSIDERATIONS:
審美的条件

- 1 | 審美的領域の考慮
- 2 | 審美的色調の配慮

CHAPTER 2
TECHNIQUE—各論—

1 適切な支台歯形成を行うために

- 1 | 形成用インスツルメントをどのように使用するか
- 2 | 患者と術者の位置関係
- 3 | 形成ステップとその評価法

2 各支台歯形成ステップ解説

- 1 | 全部被覆鑄造冠の支台歯形成
- 2 | オールセラミッククラウンの支台歯形成
- 3 | 陶材焼付鑄造冠の支台歯形成
- 4 | 部分被覆鑄造冠の支台歯形成
- 5 | ゴールドインレー・アンレーの支台歯形成

CHAPTER 3
THINK—症例—

1 どのように臨床決断していくのか

- 1 | Think(思考・決断)→Surgery(支台歯形成・外科処置)
→Verify(自己評価・確認)
- 2 | 支台歯形成の臨床的7評価項目に関わる
3条件の形成ポイント
- 3 | 形成ステップ臨床決断リスト
 - ▶CASE 1 7ア クラックに対しクラウンにて
対応した症例
 - ▶CASE 2 7ア 舌側歯質を大きく喪失している
生活歯のクラウン再製作症例
 - ▶CASE 3 6 強度的リスクの高い失活歯症例
 - ▶CASE 4 6 5 | 4 5 6 歯周治療後の
陶材焼付鑄造冠による
連結固定を施した歯周補綴症例
 - ▶CASE 5 7 6 5 | 脱離によるブリッジの
再製作症例
 - ▶CASE 6 6 5 4 | 脱離によるブリッジの
再製作症例
 - ▶CASE 7 2 1 | 1 2 外傷歯への根管治療および
補綴治療を行った症例

医歯薬出版 ご注文承り書

THINK SCIENTIFIC TOOTH PREPARATION
頭で削る支台歯形成

注文コード: 447250

()冊

●納入店ご指定希望 (ご指定納入店名)

※納入店のご指定の場合
手数料はかかりません。

●直送希望 (2つの方法から
お選びください)

① 代引 450円

② 後払い 400円

※直送は、注文書到着の翌営業日(土日祝日除く)に発送します。②の請求書は(株)ネットプロテクションズから別送します。14日以内にお支払いください。返品は受付できません。

●お名前

●TEL

●ご住所 (〒 —)

★必要事項をご記入のうえ、FAX 03-5395-7633にご送信ください。★弊社ホームページ <https://www.ishiyaku.co.jp/> からご注文いただけます。